

# 平成29年度

## 石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

### 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で3年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

### 第3回、第4回研修会

- 日時 平成29年6月5日（月）、6日（火）9：25～
- 場所 石巻市立万石浦小学校体育館
- 講師 広島大学大学院教育学研究科  
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



#### ☆研修内容

5日午前：SELの基本と授業の実践

5日午後：PBISと学級経営

実践発表 大街道小 鎌田雅子教諭

6日午前：ピア・サポートの本質

6日午後：協同学習&アクティブラーニング

実践発表 住吉中 菅野修一教諭



#### <受講者の声>

- ◇ SELについて演習を行いながら学ぶことで、どのように実践を行えばいいのかということが分かりました。現在、勤務校でも実践していますが、生徒の活動時間は30分もないので、活動の時間を確保し、ロールプレイを何度も行わせるようにしたいと思います。
- ◇ 大街道小の実践事例から、PBISでは場面場面で望ましい具体的な行動を明示することで、子どもはどのような行動をとればよいのか分かり、それができていたら教員に褒められることでその行動が強化され、不適切な行動を予防することが理解できた。PBISを実践する上で、教員が生徒の良い行動を生起する仕掛けや場を設定することが大事だと学んだ。

◇ 「無条件に存在そのものの肯定的なストローク」は私たち大人が再認識しなければならないことの1つであると再認識した。震災直後、私たちは学校に子どもたちが登校しただけで「よく来たね」と声をかけていた。あのときは、子どもたちの存在そのものが私たちの希望であったはずだ。もう一度、私たちのストロークについて振り返る必要があるだろう。

◇ 課題1～5を4人グループで考えて楽しかった。1人で考えて分からなくても、みんなで話し合うことの楽しさを味わうことができた。菅野先生の実践発表にもあったが、4人という人数がちょうどよいし、役割分担することが大切だと感じた。協同学習で大事なことを再確認することができた。

